

<対策のポイント>

離島等の地域経済・雇用を支えるさとうきび・かんしょの生産者、分みつ糖工場やでん粉工場の持続的な生産体制の構築を図るため、生産性向上の取組、サツマイモ基腐病等の病害対応の取組、分みつ糖工場の省力化による労働生産性を高める取組等を支援します。

<事業目標>

- さとうきびの単収の向上・安定化（6,230kg/10a〔令和7年度まで〕）
- さとうきびの10a当たり労働時間の削減（30.9時間/10a〔令和7年度まで〕）
- かんしょの生産量の増加（86万 t〔令和12年度まで〕）

<事業の内容>

1. 甘味資源作物生産性向上事業 1,693百万円

- ① さとうきび生産性向上支援事業
さとうきび産地の持続可能な生産体制の構築を図るため、島嶼部における労働力確保に向けた取組や土壌の特徴に応じた地力増進の取組等、島ごとに策定したさとうきびの生産性向上のための取組計画を支援します。
- ② かんしょ生産性向上支援事業
サツマイモ基腐病の次期作への影響を最小限にしながら、かんしょの持続的な生産を行う取組やでん粉原料用かんしょの生産性向上や省力化に資する取組を支援します。
- ③ 砂糖製造業等生産性向上緊急支援事業
ア 分みつ糖工場について、労働力不足に対応するため、省力化による労働生産性向上等の取組を支援します。
イ いもでん粉工場について、生産コスト低減等の取組を支援します。

2. 甘味資源作物生産性向上緊急整備事業 936百万円

- ① 著しく老朽化した分みつ糖工場の大規模整備、集中管理・自動化等省力化による労働生産性向上等に必要な施設整備を支援します。
- ② いもでん粉工場の衛生管理の高度化、生産コストの低減等に必要な施設整備を支援します。
- ③ 健全な苗や種いもの供給体制の強化に必要な施設整備を支援します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

さとうきび生産性向上支援事業

<生産性向上の取組例>

島嶼部における労働力確保や近年の単収低下等、島ごとに抱える課題に対応した生産性向上のための取組を支援。

機械化一貫体系による省力化

担い手育成に向けた研修会

堆肥等を活用した土づくり

地域の生産体制を支える担い手等の育成や省力化による労働生産性・単収向上により、離島において代替の効かないさとうきびの持続的な生産体制の構築を促進。

かんしょ生産性向上支援事業

・ サツマイモ基腐病を排除し、かんしょの持続的な生産を行うのに必要な**現場条件の改善、健全な種いも・苗の確保、他作物転換等**を支援。

健全な苗の確保

・ でん粉原料用かんしょの生産性向上のための**多収新品種への転換、廃ブラ排出抑制のための生分解性マルチの導入、省力化に資する農業機械の導入等**を支援。

多収新品種（こないしん）への転換

生分解性マルチの導入

分みつ糖・いもでん粉工場

分みつ糖工場については省力化・効率化に向けた人員配置、工場工程の見直し及び施設整備など**労働生産性向上等に必要な取組**を、いもでん粉工場については**衛生管理の高度化や生産コスト低減等に必要な取組**を支援。

・ 集中管理や自動化等による省力化施設の導入、改良

・ 原料糖の共同配送など離島間の糖業の連携、人材の確保、育成に向けたモデル的取組 等

労働生産性の向上 集中制御室等整備